

## 筑波山・加波山などが 2月1日から「水郷筑波国定公園」に

霞ヶ浦周辺は、これまで「水郷国定公園」に指定されていましたが、二月一日付をもって水郷国定公園が「水郷筑波国定公園」として改められ、筑波山、加波山などが新たに国定公園に加えられました。

これは、千代田村の閑居山から朝日峰、筑波山、峯寺山、足尾山、加波山をへて岩瀬町に至るまで、八郷町など四町三カ村に及びます。指定を受けるまでは、昭和三十三年ごろから、県を先頭に、八郷、筑波、真壁町などが中心となって運動をつづけてきました。この熱意と関東の霊峰筑波山を中心とする恵まれた自然が国を動かし、こんどの国定公園へと結びつけたものです。

新しい「水郷筑波国定公園」は、範囲もくっつくやうになり千葉県の犬吠崎から霞ヶ浦、筑波山を結んだ、大きな国定公園になりました。今後は、公園としての施設などに対しても国の援助



支線排水路の一部には、直径1.5mのヒューム管が埋められる

## 小桜地区土地改良事業

### 落差溝など一部が完成する

小桜川流域の大字青田、弓張、月岡、川又、加生野に及ぶ水田六七・八ヘクタールのほ場整備事業が着々と進められています。この事業は、規模、金額でも八郷町にとって最大をほこるほ場整備事業です。現在順調に進み、約工事の半分を完了しており、落差溝など一部分が完成しています。このような大工事が、町内で行なわれていきますので、皆さんも一度はぜひ現場をみてほしいものです。

### ほ場整備、順調に進む



(竹腰美代子先生の体操指導)

## 農村 体力づくり県大会開く 婦人ら講演や実技受ける

県民運動の一つ「農村婦人体力づくり運動県大会」が、二月四日八郷公民館を会場に婦人会員ら約三五〇名が参加して盛大に行なわれました。

この大会は、茨城県、八郷町、八郷町商工会が主催して、農村の婦人を対象に健康体操、軽スポーツなどを実施し、婦人の体位向上をはかるというものです。午前十時に開会しました。

## 第1回臨時議会 一般職員などの給与改定 「菊地顕彰基金」が生まれる

今年、八郷町第一回目の臨時議会が一月二十四日午前十時から役場議場で開かれ、一二の議案と請願一件が上程され、原案どおり可決されました。

このように大工事が、町内で行なわれていきますので、皆さんも一度はぜひ現場をみてほしいものです。

## 一般職員などの給与改定 「菊地顕彰基金」が生まれる

四月からの学校給食を実施するにあたり、管理に必要な事項を定めるために、「八郷町学校給食センター」設置、管理に関する条例を制定したものです。

改定で、国家公務員の改定にともない、町職員の給与条例も準じて改定されることになったものです。

おなじみの竹腰美代子先生の「いつまでも若く美しくくらすために」との、講演に体操をまぜたユーモアたっぷりの話が一時間三十分も行なわれました。

この大会を機会に、婦人たちが自分の体をたいせつにし、毎日が気持ちよく働けるような、よい体をつくってほしいものです。

世帯主の変更は早めに  
文書などが遅れる原因になる

世帯主の変更がすぐ行なわれず、いろいろな面で支障が起きています。変更があつたらすぐ届出をしてほしいものです。住民基本台帳法によれば「世帯主の変更があつたものは変更の日から四日以内にその氏名、変更の理由、変更年月日を町長に届け出なければならぬ」と規定されています。

麦の収穫が見込めないときは  
現在作付けている麦類で、収穫が全然ないと思われる耕地のあるかたは、三月十五日までに、地名、地番、面積などを農業共済課まで申し出てくだい。

# 浦須の「佐久良東雄旧宅」

## 工費597万円て立派に復元



### 一度はみてください！

住んでいたときに復元された「母屋」

工費五百九十七万円と二カ年の継続事業で、大字浦須の佐久良東雄旧宅が立派に復元されました。皆さんも八郷町に残る文化財を一度はみてほしいものです。

開会のことばで始まり、教育長の経過報告のあと、町長からあいさつがあった。引き続き工事を担当してくれた、畑野経夫さん(工事主任)、市村七郎右エ門さん(下林)、大村年男さん(下林)、渡辺捷治さん(柿岡)に感謝状が贈られました。また、来賓からの祝辞や建物の復元のあらましと文化財の意義などの説明もあって、最後に管理者の飯島富枝さんの閉会のことばで式を終りました。

この工事は、昭和四十二年(一九六七年)に、東雄の生家が最新の技術と豊富な材料を集めて立派に復元され、当時の面影がしのばれるようになりました。

皆さんも、八郷町が生んだ勤王の歌人、佐久良東雄の生家をぜひ一度ご覧になってほしいものです。

工費五百九十七万円と二カ年の継続事業で、大字浦須の佐久良東雄旧宅が立派に復元されました。皆さんも八郷町に残る文化財を一度はみてほしいものです。

国指定文化財の大字浦須の「佐久良東雄旧宅」が、復元をかねて修理工事を進めてきましたが、このほど完成、一月二十九日そのしゅん工式が関係者多数を招いて行なわれました。しゅん工式には、国、県をはじめ町内の関係者が出席、午前十一時から助役の

## 新学期から給食開始へ

### 週五日、三台の車で運ぶ

全校生徒を対象に、学校給食は新学期から実施しますが、一八郷町学校給食センター設置、管理に関する条例も決まりました。

町の学校給食は現在小学校のみですが、まもなく給食センターも完成するので新学期からは、中学校も含めた全校に実施することになりました。管理運営には一五名で構成する運営協議会があり、週五日間、生徒にはおいしい、栄養の高い食事を調理して、三台の車で各学校へ運びます。給食センターのあらましは次のとおりです。

場所……大字柿岡字神取(老人福祉センター先約三〇〇メートルの小倉にいったところ)

給食方法……週五日

給食の対象……小学生二、九一八人、中学生一、九六二人、職員二七二人の合計五、一五二人です。

給食費……小学生九百円、中学生千円、職員千円(金額は月額)

管理運営……管理は教育長が行ない、諮問機関として運営協議会(一五名)があります。職員は所長、係長及び主事(二

## 「父子契約」で

### 新しく二〇の農家

父子契約者が、そくそく誕生しています。すでに広報などで父子契約のあらましについてお知らせしましたが、昨年四月から今年の一月までに契約が成立した二〇の農家を紹介します。

この農家は、いずれも農業の近代化と明るい豊かな

人)、栄養士、運転手(三人)、調理師(手)(二人)、用務手となります。

施設及び設備

施設……管理及び調理棟(鉄筋コンクリート造り六七一・二平方メートル)

浄化そう、井戸など

設備……ライスボイラー(六)、食器洗滌機、連続揚物機、コンテナ(二〇)、食器消毒釜(四)冷蔵車、ガス回転機(二)自動車(三)など

農家づくりに励まれています。農業後継者の子が、せひ父子契約で「新しい農家」を築いてください。

契約者の名前は次のとおりです。

【部門契約農家】

◎養豚……水瀬利男(宇治谷)、野村宗市郎(瓦谷)、鈴木波子(瓦谷)

◎鶏山周三郎(部原)、皆川新作(根小屋)、菊地良六(青田)

## 明るい窓

大塚部落に公民館完成

部落民の念願かなう



いこいの殿堂になる公民館

大塚部落一五九戸の念願だった公民館が、みんなの寄付などによってこのほど立派に完成しました。

昭和三十六年、公会堂

指の中島隆君が選ばれました。そして、二月七日役場において表彰式が行なわれました。

論文募集は昨年からはじめられたもので、町や公民館が主催して「二〇才になって考えたこと」など五つのテーマでつりました。

男女あわせて一七名からの作品は、充実したすばらしいもので、選考委員には町長はじめ七名があたり、慎重に審査した結果、入選四点、佳作二点が選ばれました。

入選者には、賞状に賞品を添えて表彰しました。また参加者にも全員に記念品を贈りました。

入選者の名前は次のとおりです。なお、一位入選の中島君の作品は、来月の広報にのせます。

入選者

◎一位中島隆(金指)、◎二位久家喜久江(下林)岡田せつ子(小屋)、◎三位土田芳孝(柿岡)、◎佳作本多やい子(真家)三輪孝夫(下林)

できることを知り、部落民が会合を重ね、建物を下げ、寄付をつのって建てようと決定しました。さっそく建設委員会(委員長石田輝一郎氏)を結成、寄付金二百四十九万円をもとに建築に着手。このほど完成、落成式も多数の来賓を招いて盛大に行なわれました。

公民館の大きさは、木造平屋建て二八七平方メートルもあり、八畳二室のほか一〇〇平方メートルの大広間などがつくり、電気コタツや扇風機の設備もあります。

今後は、部落民の研修の場として、またいこいの殿堂としておいに活用されることでしょう。

水稲、陸稲の共済金をどうぞ

昭和四十三年産の水稲、陸稲の共済金が、このほど八郷農協の各事業所及び小桜農協の貯金口座に振込みを終りました。いづれも引き出せるようにしました。

なお、合計金額は水稲が七百三十七万六千七百円、陸稲が二百五十九万七千二百十五円です。

道路の整備は文化の向上や産業の振興のため、欠かせない重要な行政の一つ

◆◆◆◆◆

町民の願望もきわめて強いが、限られた財政での実施は一般の協力がなしとため

◆◆◆◆◆

農業振興に補助金が必要。教育も社会福祉も重大と云うから予算が分散しちゃう

◆◆◆◆◆

道路の整備はすべての事業の基本。この辺で理屈ぬきの協力は得られないか

2月の納税

固定資産税 第4期

有線放送使用料

新成人者の論文

一位に中島君

新成人者の論文募集が、一月十日締めきりで行なわれたところ、一七名からの応募があり、一位に大字金

俳句

素十來ることを心に春を待つ

夫送り子を添りても雪やまぬ

短歌

冬風きの野火の遊びに呆ける子ら

田越し畑越し颯い駆け寄る

眞家 山下 桂州

瓦谷 増子 久子

そこはかと下萌えいそく映明るし

流るる水音ささええとして

下林 白田 正源

下林 大久保花峰

半田 関 卜堂

## くらしのそと

ニキビが多くなるのは

試験のときにニキビが多くなったなどということがあるかもしれません。

ニキビはどのように精神的な疲労、胃腸や肝臓の不調、ホルモンのアンバランスなどが原因でできます。ですから、ニキビを防ぐには日常生活にも気を付ける必要があります。

◆◆◆◆◆

ニキビのある人は、どんなに好きでもチョコレートやコーヒーはがまんしましょう。ニキビのできる人にとっては、清潔が第一です。髪や手の清潔にも気をつけてください。

◆◆◆◆◆

つい気になって指でさわりますが、手はいろいろなものにさわってバイ菌を拾っているのです。かえって菌をひろげ、ニキビが悪化します。生活を規律正しくし、肌の手入れをしても、まだなおらないときは専門医にまかせるべきです。必ず皮膚科か内科の医者にみてもらい、根本的に治療することをすすめます。

◆◆◆◆◆

堅い供えモチは

堅くなった供えモチを小さくくだいて二三日のあいだ水に浸しておきとり出して適当な量ずつまよめまよめ。それを熱したフライパンの上で、こねるようにして焼くと、まるでつきたてのようになります。

◆◆◆◆◆

小さくちぎってダイコンおろしをまぶすと、おいしいカラモチができます。